

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	声の広報発行事業			
予算科目	3 款 1 項 15 目			
総合計画での位置付け	福祉の向上と保健・医療の充実～やすらぎとぬくもりのまちづくり～ 福祉施策の向上と充実			
所管課情報	担当課:	福祉課	電話番号(内線):	538
記入者情報	所属長:	渡辺 悦子	担当責任者:	大森 秀泰
事業の性格	内部管理事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	文字による情報入手が困難な障がい者			
根拠法令等	障害者総合支援法第77条・伊予市声の広報等発行事業実施要綱			
事業の目的	文字による情報入手が困難な障がい者のために、点訳、音訳、その他障がい者にわかりやすい方法により、地方公共団体等の広報、障がい者が地域生活をする上で必要度の高い情報などを定期的に障がい者に提供し、社会参加を図る。			
事業の内容	声の広報(全504巻:「月42巻×12か月」)の製作			
改善策の具体的な取り組み(当初)	窓口、各種会合等で機会のあるたびに「声の広報」をアピールして、利用回数を増やしてもらう。			
改善策の具体的な取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目		26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算
事業費	直接事業費	100	100	0	100
	人件費	159	161	80	161
	合計	0	261	80	261
人件費内訳	人工数	0.02	0.02	0.01	0.02
	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	159	160	80	160
財源内訳	国庫支出金	0	35	0	27
	県支出金	0	17	0	13
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	259	209	80	221

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績
声の広報配布箇所数	箇所	18	18	18	18

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の実績
	100	100	100	100	100	500

成果指標				
成果指標	声の広報配布箇所の継続			
指標設定の考え方	聴覚障がい者等が市政の状況に対する理解を深める機会を確保する必要があるため。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標28年度
目標	18	18	18	18
実績	18	18	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	ボランティアの皆さんが高齢化している。長く続けていくためにも、後継者の育成が必要となる。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	視覚障がい者に向けて、行政のお知らせ「広報いよし」を音読し、テープやCDで配布しているが、利用の拡大よりも、行政の合理的配慮として継続して実施していく必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	